

身近なことから見直そう



大量のごみが運び込まれる成田富里いずみ清掃工場

成田富里いずみ清掃工場には、毎日大量のごみが搬入されています。ごみを減らすためには、正しい分別をしたり、食べ残しをなくしたりするなど、一人一人が日常のちよつとしたことから取り組むことが大切です。

成田市のごみの量

近年はやや減少傾向に

成田富里いずみ清掃工場では、本市と富里市で発生した可燃ごみを処理しています。

令和3年度に約5万5,000トン搬入されていたごみは、近年減少していて、令和7年度には約5万3,000トンとなりました(図1)。

依然として全国平均を上回る

令和7年度に市内から出たごみを市民1人1日当たりに換算すると、約968グラムでした。

これは、国や県と比較すると、依然として高い数値です。令和6年度の県との比較では、約140グラム(茶わん1杯分)多

い排出量となっています(図2)。多くの資源物がごみに

図3は、成田富里いずみ清掃工場に搬入された可燃ごみの内訳です。

本来は資源物である紙・布類が、全体の半分近くを占めています。

また、3割以上を占めるビニール・ゴム・皮革類の中にも、リサイクルできるプラスチック製容器包装が含まれています。

このように、多くの資源物がリサイクルされずに処理されてしまっていることが分かります。この現状を変えるためには、一人一人が、ごみと資源物を正しく分別をすること、ごみの量をさらに減らすことが大切です。

ちよつとした心掛けが現状を変える

雑がみは可燃ごみと分けて

雑がみとは、お菓子の箱や包装紙、封筒、はがきなど、リサイクルできる紙類のことをいいます。細かい物が多く、つい可燃ごみとして捨ててしまいがちですが、分別すればリサイクルできる大切な資源です。

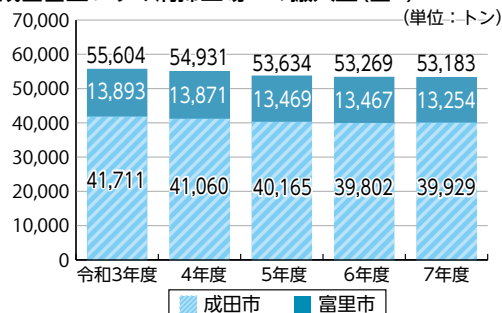
雑がみを出す時は、紙袋に入れ、ひもで紙袋の上から十文字に縛ってください。なお、シュレッダー古紙のみの場合は、透明なビニール袋に入れて出すことができます。

プラマークに注目

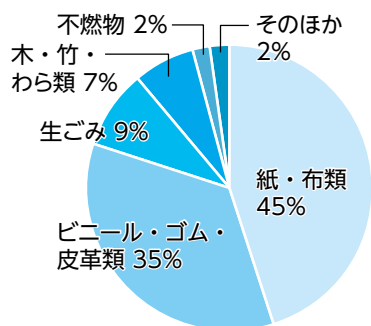
プラスチック製容器包装

市では、プラスチック製容器

成田富里いずみ清掃工場への搬入量(図1)

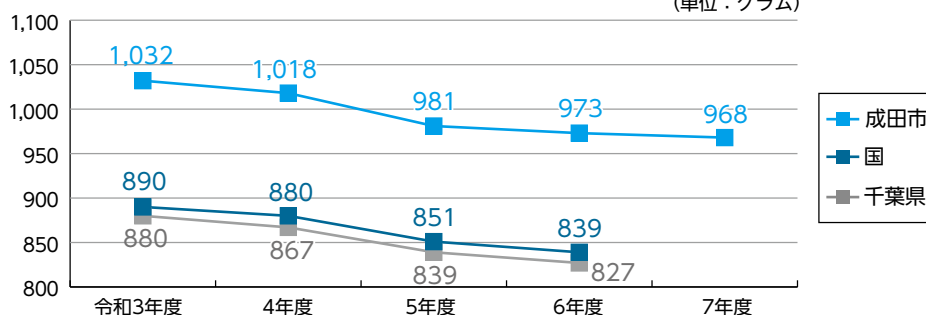


令和7年度の可燃ごみの内訳(図3)

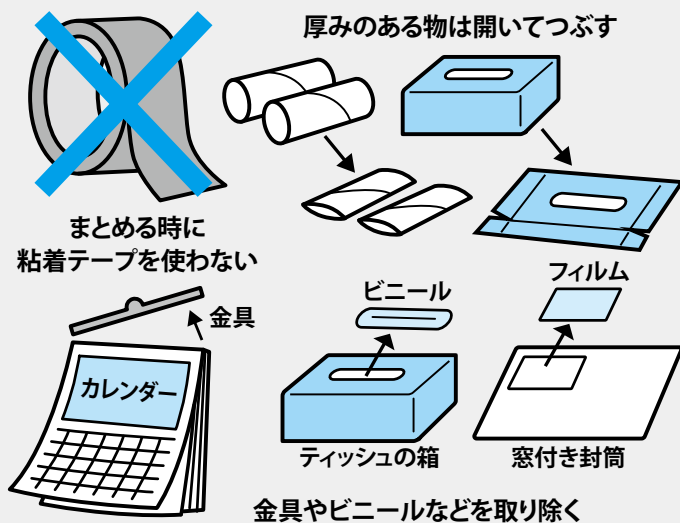


1人が1日に出すごみの量の比較(図2)

(単位: グラム)



雑がみを出す時の注意点



包装を、リサイクルできる資源物として週に1回収集しています。白色の指定袋に入れて、収集日に出してください。

プラスチック製容器包装の対象となる物には、プラマーク(左図)が付いています。分別する際に確認しましょう。

ポリバケツや歯ブラシなど、そのものがプラスチック製である場合は、分別の対象になりませんので、可燃ごみとして出してください。

 このマークが目印

汚れや油が付いたままの物もリサイクルできません。指定袋に入れる前に、きれいに洗い流してください。

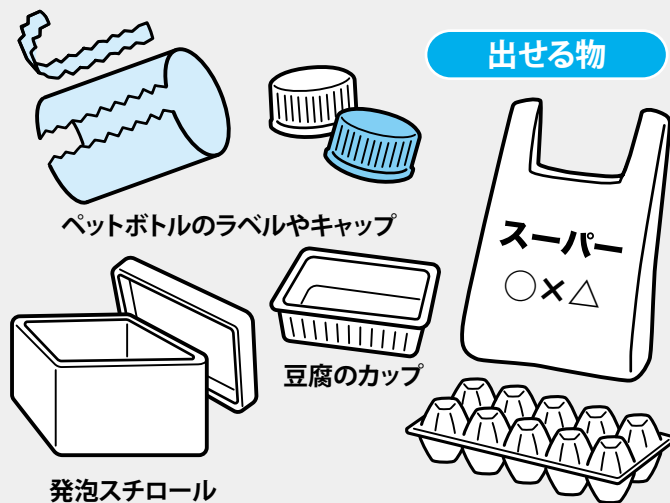
汚れや油が落とすきれいな場合は、可燃ごみとして出してください。

減らそう生ごみ・食品ロス
やってみよう「3きり運動」

生ごみや食品ロスを減らすために、「使いきり・食べきり・水きり」を行う「3きり運動」を意識しましょう。

食材を使い切る・食べ切る、

プラスチック製容器包装の分別例



出せない物(可燃ごみ)



生ごみは出す前に水をよく切る、といった工夫で生ごみは減らせます。

市では、生ごみを減量し、堆肥化する器具を購入する世帯に対して、その設置にかかる費用の一部を補助しています。

購入する前に申請が必要です。申請方法などの詳細は市ホームページで確認してください。

※くわしくはクリーン推進課(☎ 20・1530)へ。

 市ホームページ

リサイクルプラザで改修工事中 自己搬入は午前中のみ

現在、リサイクルプラザでは、改修工事が行われています。そのため、12月末までは、資源物などの自己搬入時間を午前8時30分～正午(受け付けは午前11時30分まで)に制限しています。

また、期間中は場内が大変混雑します。資源物などの施設への自己搬入はなるべく控え、収集日にごみ集積所へ出してください。